
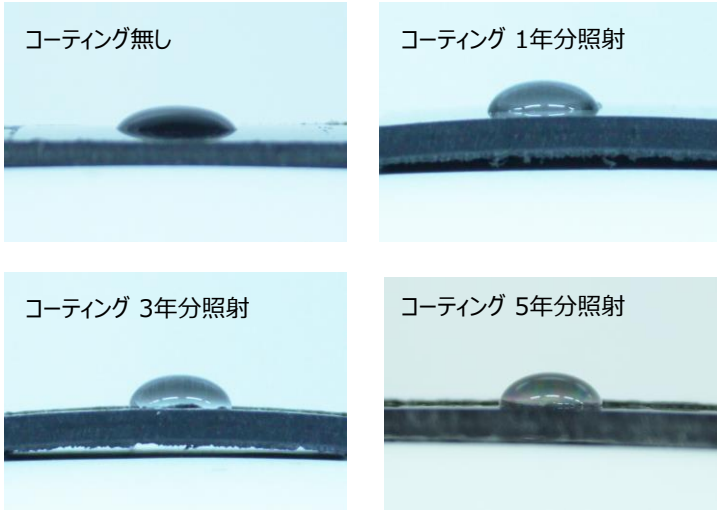


促進耐候性試験結果

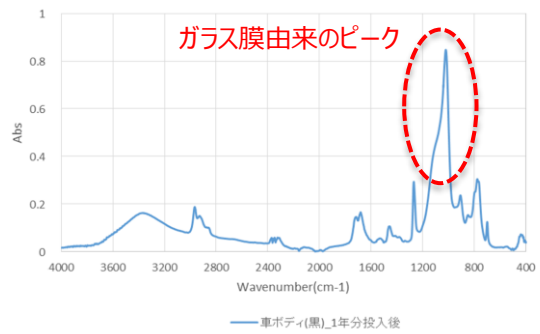
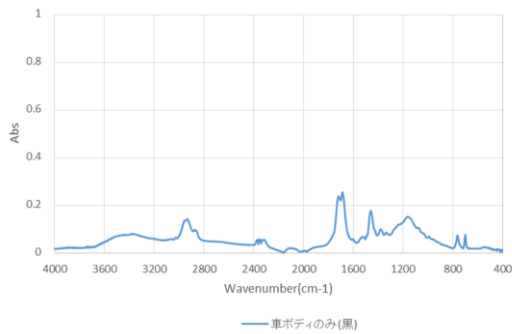
項目	1、3、5年分相当の促進耐候性試験	記録日	2017年11月1日
目的	コーティング剤の効果及びIRにてコーティング成分を確認。	記録者	岩元 

<<テスト内容>>



コーティング無しのは、はっ水性が弱く、コーティングを施すことでよりはっ水性を付加できる。

促進耐候性試験(1、3、5年)へ投入後、それぞれはっ水性を画像にて確認。1、3、5年分相当照射後もはっ水性を維持していることが確認できる。



コーティングを施すことにより、ガラスコーティング膜由来のピーク(1000 cm^{-1} 付近)が確認できる。

促進耐候性試験:1、3、5年分照射後もガラスコーティング膜由来のピークが確認できるため、

ガラスコーティング膜は5年以上保持できることを示す。